

# ごあいさつ - JHP は 25 周年を迎えます -

人間50年、下天のうちをくらぶればと織田信長が扇をかざして舞ってから400年余。

昨今は人生100年の時代を迎えていると、盛んに言われていて、時に気が遠くなりそうになることがある。

「学校をつくる会」にかかわるすべての始まりは1990年、夏、中東で湾岸危機が勃発、私は大河ドラマを無事に書き上げ、その少し前に母を91歳で見送って60歳、寂しいけれど身軽るになっていた。だから行ってみようと思いついてしまった。だが道中万が一のこともあるし、唯一の親族である息子に中東行きを告げたらば、僕も行きますとその友達まで手を上げて総勢7人が成田を出発、イラクには入国できなかつたのでお隣のヨルダンに向った。

心配しながらヨルダンの友人と連絡をとってくれた私の友人が、しっかりと手配してくれていたの、イラクから命からがら逃げて来た出稼ぎの人たちのお世話をすることになった。

日本から各新聞社の記者も来ていて放送中の大河ドラマ脚本家のおばさんが珍しかったのか、帰国したらば写真入りで記事になっていたの、いろいろ問い合わせがあったのは湾岸危機が湾岸戦争

になってしまったからかも知れない。

戦争はイラク一国と多国籍軍との戦いだったからすぐ終わったが、避難民となった人々が山を越してイラン側に逃げて来て劣悪なキャンプ生活をしてきたからその救援を頼まれ、始めて日本の大学生や若者と行動を共にした。これが現在の「学校をつくる会」の原形で、以来25周年の記念を迎えることになるのには、協力してくれる大学、企業があって、イラン、ロシア、カンボジア、ネパールと、戦後の荒廃や困窮独居老人の所へ実際に連れて行けば、平和の尊さ、有難さを身をもって学び「JHP・学校をつくる会」は立ち上げられたのだ。近年、不況とやらでかつての様に学生が賑々しく集まらないことがあるが、「JHP」の灯は消えずにカンボジアに359校、ネパールに11校が完成して子どもたちが通っている。それはさまざまな人が応援してくださっているから嬉しい限りだ。

25周年記念の集いは是非とも実行したく、会場も決まり、その日は11月10日、会員の皆さんとお会い出来るのをたのしみに「学校をつくる会」のスタッフは頑張っている。なにしろ100年は生きなければならぬ時代だからです。

山内美江子

## 25周年の記念パーティーを皆様とご一緒に！

2018年11月10日（土）

11:00 - 受付

11:30～14:00 - パーティー

クルーズ・クルーズ YOKOHAMA

お問い合わせは、下記連絡先へお知らせください。

TEL: 03-6435-0812

E-mail: [tokyo-office@jhp.or.jp](mailto:tokyo-office@jhp.or.jp)



20周年記念パーティーの様子